

外用殺菌消毒剤
日本薬局方

オキシドール

オキシドールFM

Oxydol
500mL

※2013年1月作成 第一版

貯法：遮光した気密容器に入れ、30℃
以下で保存

日本標準商品分類番号	872614
承認番号	16100AMZ02203
薬価収載	1986年4月
販売開始	1986年4月
再評価結果	1983年4月

【禁忌(次の部位には使用しないこと)】

瘻孔、挫創等本剤を使用した際に体腔にしみ込むおそれのある部位

発売元 株式会社フォーカス

京都市中京区烏丸六角下ル七観音町634 カラスマプラザ5F

製造販売元 株式会社 **フジミ製薬所**

大阪市東成区中本2丁目9番9号



【組成・性状】

組織：本剤100mL中、下記の成分を含有する。

有効成分	過酸化水素(H ₂ O ₂)2.5~3.5g
添加物	フェナセチン

性状：本剤は無色澄明の液で、においはないか、又はオゾンようのにおいがある。

pH:3.0~5.0

比重 d₂₀²⁰:約1.01

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
創傷・潰瘍の殺菌・消毒	原液のまま、あるいは2~3倍希釈して塗布・洗浄する。
外耳・中耳の炎症、鼻炎、咽喉頭炎、扁桃腺などの粘膜の炎症	原液のまま塗布、滴下あるいは2~10倍(耳科の場合、時にグリセリン、アルコールで希釈する)希釈して洗浄、噴霧、含嗽に用いる。
口腔粘膜の消毒、鱗癌及び根歯の清掃・消毒、歯の清浄	原液又は2倍希釈して洗浄・拭擦する。
口腔内の洗口	10倍希釈して洗口する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

長期間又は広範囲に使用しないこと。

2. 副作用

本剤は、使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1) 重大な副作用

空気塞栓

空気塞栓を起こすことがあるので、循環動態に異常を認めた場合など空気塞栓が疑われる症状がみられた場合は、速やかに本剤の使用を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

種類/頻度	頻度不明
口腔	適用により口腔粘膜を刺激することがある。

3. 適用上の注意

(1) 投与の経路

外用にのみ使用し、内服しないこと。

(2) 使用時

1) 眼に入らないよう注意すること。

万一眼に入った場合には直ちに水でよく洗い流すこと。

2) 易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用する場合よりも低濃度とすることが望ましい。

3) 深い創傷に使用する場合は希釈液としては注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。

4. その他の注意

長期大量経口投与によりマウスの十二指腸に腫瘍の発生が認められたとの報告がある。

JAN



製造番号

使用期限